

一般演題募集要項

原則的には日本作業療法学会に準じておりますが、以下の点にご留意ください。

<1>応募資格

(1) (一社)東京都作業療法士会会員および他道府県の作業療法士会会員は、筆頭演者として演題応募資格があります。ただし、演題募集の締め切り時点において、入会時から2017年度までの会費((一社)日本作業療法士協会、士会両方)が納入されている必要があります。なお、他道府県の作業療法士会会員は、(一社)東京都作業療法士会会員ではないため、本学会では非会員の扱いになります。どうぞご了承ください。

(2) 作業療法士以外の職種の方は、学会長の承認を得て演題を応募することができます。学生に関しても同様です。

<2>応募受付期間

2017年12月4日(月)から2018年3月31日(金)まで。ご応募をお待ちしております。

<3>演題応募方法と受理

(1)演題登録および抄録原稿の送付先電子メールアドレスは以下のとおりです。
tokyo.ot2018@gmail.com (御利用の際には、@は半角に直してください)

(2)抄録原稿の受理後、電子メールで確認のご連絡をいたします。3日以内に演題受理の連絡がない場合は、上記の電子メールアドレスまでお問い合わせください。

(3)原則として、演題受理後の修正は受け付けませんので、ご了承願います。

<4>演題論文の使用権について

演題論文の二次使用権・許諾権は、(一社)東京都作業療法士会に帰属します。

<5>演題内容に関わる倫理的事項について

(1)対象者の同意について：下記の倫理的事項を遵守し、本文中に倫理的配慮について記載してください。特に対象者の同意についての記載は必須です。

(2)最大限の倫理的配慮：研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程において、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行い、各大学・病院等に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載してください。

(3)著作権等への配慮：他の著作物からの引用を行うときには，本文中に出典の著者と発行年数(フルネーム，西暦)を明記し，著作権を侵害しないように注意してください。

(4)学会長の要請に対する協力：学会長から，演題内容に関する倫理的配慮を証明する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

(5) 利益相反(COI)の申告：発表演題に関連して，企業や営利団体等から金銭等の提供を受けた場合や受ける予定がある場合には申告する必要があります。登録時に利益相反の有無を申告し，発表時に利益相反の有無を述べてください。

<6>演題抄録の作成と送付

(1)抄録の作成

1)Windows版 Microsoft word 2003, 2007, 2010, 2013, 2016にて作成してください。ファイル名は 演題のタイトルとします。

2)下記の抄録作成例(図1)を参考に，演題のタイトル，筆頭演者・共同演者，各々の所属，キーワード(3つ)を記載してください。

3)本文の字数は800~1200字(40字×30行)です。図表などの使用はできません。必ずA4用紙1ページに収まるようにしてください。

4)応募演題には必ず3つの「キーワード」を選択してください。(一社)日本作業療法協会ホームページの「作業療法キーワード集(2016年10月改訂)(12/15)」(下記URL)を参照してください。<http://www.jaot.or.jp/science/key-word2015.html>

5)タイトルはゴシック体(12ポイント)，その他は明朝体(10.5ポイント)です。

6)特殊なフォントや記号，文字の使用はできません。

(2)抄録の送付

1)抄録を添付する電子メールの件名は，「演題タイトル-氏名」とします。2)電子メールの本文には，以下の通りご記入ください。

1 筆頭演者氏名，2 所属，3 連絡先住所，4 電話番号，5 FAX番号，6 電子メールアドレス，7 利益相反 有 または 無，

<7>応募演題の採択について

(1)最終的な採否は以下の採択基準に従って、学会長と演題査読委員会の協議のもとに決定いたします。なお、採択された演題の取り消しはできません。

1)演題内容に関わる倫理的事項が遵守されている。

2)論文構成や表現などが適切である。

3)テーマや内容に創造性や独自性があり、作業療法の発展に貢献すると判断される。

4)方法・器具等が具体的に記載されている。

5)同一演題名で他学会等において発表されていない。

6)本学会の「演題募集要項」が遵守されている。

(2)採択結果の通知は、募集締め切り後の一ヶ月を目途に、学会側より発表日時を記入した電子メールにより筆頭演者連絡先宛に直接通知いたします。

<8>演題発表

(1)演題発表形式はポスター発表とします。

(2)発表の詳細については、発表要項を後日電子メールでご連絡します。

(3)演題発表を行うセッションは、キーワード等を参考に学会実行委員会が決定いたします。

様々な人や環境の強みを活かす作業療法の検討

○東京太郎 1) 首都花子 2) 東野都 3)

1) ◇◇病院 2) △△リハビリテーションセンター 3) □□大学

キーワード: 作業 ADL リハビリテーション

【目的】 作業有能性とは、生産的で満足する作業行動のパターンを維持することであり、作業同一性(価値)とは、自分の作業的生活において、何が重要なのかという信念や確信である。環境は、対象者の作業有能性と作業同一性の変化の一要因となるが、大都市東京の環境は、作業療法実践に何らかの影響を与えているものと考えられる。本研究の目的は、東京都に勤務の作業療法士を対象にフォーカスグループを実施し、様々な人や環境の強みを活かす作業療法を検討することである。

【方法】 1. 対象者: 本研究協力に承諾を得られた東京都に勤務の作業療法士20名(女性15名、男性5名、平均年齢 29 ± 5 歳)。2. 手続き: 1グループ10名とし、2グループを編成した。

図1 抄録作成例